

講演者の紹介

今回は特別企画として、来春の地方統一選挙を目指して活動している方を講演者としてお招きします。<http://www.oiken.info/>
今回の講演者の方は、前回の選挙にて若干26歳で立候補(無所属)しましたが、惜しくも当選はなりませんでしたが、立候補した理由は、生まれ育った街を愛しているが故に、

「どんどん元気がなくなっていく生まれ育った街をなんとかしたい」
「いろんな人たちに、この街が持っている可能性を示していきたい」
「そのためにまずは地方行政のあり方を変えていきたい」

そして、

「若くても行動を起こすことで行政のあり方を変えていけることを同世代の”仲間たち”に伝えたい」

そんな思いからでした。

それから4年、街への思い、行政への思い、同世代の”仲間たち”への思いを実現させるべく、今も精力的に活動されています。ある若者が生まれ育った街に対して抱いてきた”思い”を、「若者が考える政治と選挙のあり方」として講演して頂きます。是非、ご参加ください。

及川 賢一(おいかわけんいち)

東京都立大学 経済学部卒業

東京大学大学院 社会情報研究所教育部修了

東京都立大学大学院 社会科学研究科修了(経営学修士)

ソニー株式会社に勤務

八王子市議会議員選挙(07年)に立候補し、2812票の支持を得るも補欠にて落選

株式会社メディアクリタスにて国内製造業向けの経営コンサルタントとして勤務

現在、八王子に元気を取り戻すべく、政治の道を志して日々活動中

日程詳細

【日時】 2/20(日) 13:00-15:00

【テーマ】 若者が考える政治と選挙のあり方

【参加方法】 下記問合せ先まで参加希望の旨、ご連絡ください

【概要】 現在の地方行政と住民の期待とのギャップから発生している問題について検討し、そのギャップを解消する上で、政治家がどんな立場で住民と行政の間に入っていきべきかについて議論します。また、所謂3バン(地盤、看板、靴)を持たずして、立候補して政治家になる方法を、サラリーマン一か月分の給料(約30万円)で選挙活動を展開した講演者が説明します。

六本木CSAとは



六本木CSAは、世の中の様々な課題に対して、いろんなバックグラウンドを持った方々が、いろんな視点から対応方針を考え、意見交換をする会です。普段、なかなか触れることができない異業種の方の考え方に触れ、新たな視点を獲得するための場としてご活用ください。